

入院診療計画書

経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-B t）をお受けになる @PATIENTNAME 様へ

泌尿器科 @PATIENTWARD 病棟

@PATIENTROOM 病室
患者番号 @PATIENTID

主治医以外 の担当者 氏名	主治医氏名		印			
	担当医師					
	看護師長					
	管理栄養士					
	担当看護師					
病名						
症状						
特別な栄養管理の必要性			(あり ・ なし)			
入院治療の目標（達成目標）			退院後の生活の注意点を理解できる。			
推定 入院期間	入院日(月 日)	手術当日(月 日) 入室時間(:)	手術前	手術後	手術翌日	2日目から退院日
注射・ 内服	なし	手術前(午前中)より点滴を開始します。	医師の指示があるまで点滴がつづきます。 点滴の部位が腫れたり、痛みがある場合は看護師に教えてください。		点滴は手術翌日まで行います。(医師の指示に従い、必要に応じて点滴が続く場合があります。)	なし
	内服している薬は、お薬手帳と共に看護師に渡してください。 持参薬の確認を行います。	麻酔科医師より指示がある場合、()時に内服を行います。 医師の指示のもとアラグリオの内服(あり ・ なし) アラグリオは副作用に過敏症があるため、内服後48時間は日光を避けてください。	内服は中止になります。 		内服再開については医師の指示に従ってください。 痛みがあるときは、看護師にお知らせ下さい。痛み止めを使用していきます。	痛みがあるときは、看護師にお知らせ下さい。痛み止めを使用していきます。
※ 検査	なし	なし	なし		なし	なし
処置	なし 	なし	異常の早期発見のため、血圧や脈拍、体温、尿量などの測定を行います。		医師の指示のもと手術翌日に問題なければ、尿の管が抜けます。尿の管が挿入されている場合は、尿の管の違和感や痛みがないか確認していきます。	なし
教育・ 説明・ 指導	看護師が病棟の案内と手術前準備、手術後の注意点を説明します。 手術前日に麻酔科受診があります。(月曜日が手術の方は金曜日受診になります) 手術必要物品としてT字帯を1枚購入します。売店でも購入することができます。 術後の深部静脈血栓症予防のため弾性ストッキングを看護師がお渡しします	入室準備として、手術着に着替え、T字帯をつけます。医師の指示のもと弾性ストッキングを着用します。 時計や入れ歯、メガネ、ネックレス、コンタクトレンズ、補聴器など身につけているものは外してください。髪が長い方はゴムで左右どちらかにまとめて下さい。また顔色を見るために化粧はしないようにして下さい。 手術室に入室したら、リストバンドを見せ、名前を名乗ってください。	尿の管が入ってきます。尿の管の違和感や痛み、尿意が強い場合に痛み止め(坐薬もしくは点滴)を使用していきます。		歩行が可能となりましたら、弾性ストッキングを外していきます。また発熱や尿路感染予防として水分を1日1L~1.5Lを目標にとるようにしてください。 看護師より退院後の生活注意点について指導用紙を用いて説明を行います。	看護師より退院後の生活注意点について指導用紙を用いて説明を行います。 
安静度	特に制限はありません。	特に制限はありませんが、点滴を行いますので、点滴棒を使用しながら歩行をしていただきます。	医師の指示があるまで起き上がることができません。寝返りをうつことができますので、身体の向きを整えていきます。		医師の指示のもと朝から歩行可能となります。手術後初めて歩行するときは、点滴や尿の管が入っており、歩行状態を看護師が観察しますので教えてください。	特に制限はありません。
食事	夕食まで食べられます。(特に制限はありませんが、治療食が必要な方もいらっしゃいます。) 麻酔科の指示の日時(月 日 時)より絶食となります。	()時から水分の摂取もできません。	食べたり、飲んだりすることはできません。		医師から飲食の許可があれば、朝から飲水や食事が開始となります。	特に制限はありませんが、治療食が必要な方もいらっしゃいます。
排泄	特に制限はありません。	手術の30分前に排尿を済ませてください。	尿の管が挿入されますので、尿は自然に流れます。尿意が強く、尿の管の違和感がある場合は看護師に伝えてください。		尿の管を抜いた後は、尿の出にくさや残尿感、尿の色の観察を行います。 膀胱に残っている尿の量を確認しますので、排尿後は看護師に伝えてください。 血尿が増したり、排尿困難感が強い場合は報告してください。	尿の出にくさや残尿感、尿の色の観察を行います。残尿測定を行っていきます。 血尿が増したり、排尿困難感が強い場合は報告して下さい。
清潔	手術後は医師からの許可があるまで入浴できませんので、手術前日はシャワー浴を行ってください。	シャワー浴はできません。 	シャワー浴はできません。		看護師がタオルで身体を拭きます。また尿の管が抜けた後はシャワー浴可能になります。 	シャワー浴可能となります。 
その他	なし	床ずれの予防をします。				なし
	せん妄症状に注意し、予防していきます。					

*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。
*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。
*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。